

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 4 区分

【発行日】平成22年7月15日(2010.7.15)

【公開番号】特開2007-326365(P2007-326365A)

【公開日】平成19年12月20日(2007.12.20)

【年通号数】公開・登録公報2007-049

【出願番号】特願2007-150693(P2007-150693)

【国際特許分類】

**B 4 1 F 33/00 (2006.01)**

【F I】

B 4 1 F 33/00 S

【手続補正書】

【提出日】平成22年6月1日(2010.6.1)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

印刷機で使用する印刷フォームを作るプロセスであって、

A) 指定されたラスタパーセンテージを有し、0%のラスタパッチ、100%のラスタパッチ、および所定のパーセンテージの少なくとも1つの他のラスタパッチを含む少なくとも1つの階段状のくさびの形を含む、定義された印刷イメージを有する印刷フォームを提供するステップと、

B) 少なくとも1つの階段状のくさびのテストプリントを得るために、ステップA)から提供された前記印刷フォームを用いて印刷インクを用いて前記印刷機で下地に印刷するステップであって、0%の前記ラスタパッチは前記下地のカラーシェードに対応し、100%の前記ラスタパッチは前記印刷インクのソリッドシェードに対応する、ステップと、

C) 前記テストプリントの前記少なくとも1つの階段状のくさびの0%の前記ラスタパッチ、100%前記のラスタパッチ、および前記少なくとも1つの他のラスタパッチのそれぞれについて、分光光度計を使用して反射率スペクトルを測定し、前記反射率スペクトルから関連する比色値  $L^* a^* b^*$  を判定するステップと、

D) 公式

【数 1】

$$RCD = \sqrt{\frac{\left\{ \left( L^*_{\text{ラスタパッチ}} - L^*_{\text{下地}} \right)^2 + \left( a^*_{\text{ラスタパッチ}} - a^*_{\text{下地}} \right)^2 + \left( b^*_{\text{ラスタパッチ}} - b^*_{\text{下地}} \right)^2 \right\}}{\left\{ \left( L^*_{\text{ソリッドシェード}} - L^*_{\text{下地}} \right)^2 + \left( a^*_{\text{ソリッドシェード}} - a^*_{\text{下地}} \right)^2 + \left( b^*_{\text{ソリッドシェード}} - b^*_{\text{下地}} \right)^2 \right\}}} \cdot 100[\%]}$$

を使用して人間の目の色知覚との線形相関で前記少なくとも1つの他のラスタパッチの前記比色値  $L^* a^* b^*$  を変換するステップであって、RCDは、パーセンテージとして表された相対比色差であり、前記印刷機で達成された実際のラスタパーセンテージを表す、ステップと、

E) プレートの前記少なくとも1つの他のラスタパッチの前記所定のパーセンテージとステップD)で得られた前記RCDパーセンテージとの間の差に基づいて、前記少なくとも1つの他のラスタパッチのドットゲインを判定するステップと、

F) ステップE)からの前記ドットゲインによって前記印刷フォームからの前記所定のラスタパーセンテージを補正し、これによって、前記少なくとも1つの他のラスタパッチの補正されたラスタパーセンテージを作成するステップと、

G) ステップ F) で前記少なくとも 1 つの他のラスタパッチについて得られた前記補正されたラスタパーセンテージを使用して印刷イメージを有する印刷フォームを作るステップと

を備えることを特徴とするプロセス。

【請求項 2】

印刷フォームは、前記印刷イメージに関する所望の印刷インクごとに作られることを特徴とする請求項 1 に記載のプロセス。